

薩摩川内港の沿革

昭和22年10月	地方港湾指定	平成26年 4月	川内甌島航路開設、高速船ターミナル供用開始
昭和34年 5月	川内港建設起工式	平成26年12月	コンテナ取扱量2万TEU達成
昭和38年	船間島地区岸壁供用開始	平成28年 8月	港湾貿易促進に関する協力協定書締結(薩摩川内市・常熟市)
昭和45年 5月	重要港湾指定	平成28年 9月	台湾定期コンテナ航路開設(R2年12月から休止)
昭和47年 3月	川内港新規港湾計画策定	平成29年11月	川内港開港30周年記念式典
昭和49年 7月	九州電力川内発電所運転開始(50万kw×2基)	令和元年11月	川内港港湾計画改訂
昭和55年 3月	京泊地区公共ふ頭完成	令和 3年 4月	川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業国直轄事業化
昭和55年 6月	チップ船(川内丸3万トン)初入港	令和 3年11月	韓国定期コンテナ航路(高麗海運)開設(韓国便2航路化)
昭和59年 3月	危険物ふ頭完成(燃料関連会社が背後地に進出)	令和 4年 1月	公益社団法人日本港湾協会主催2021ポートオブザイヤー受賞 移動式ハーバークレーン更新
昭和62年 4月	関税法上の開港指定	令和 4年 7月	サーキュラーパーク九州(川内発電所跡地活用)の 実現に向けた連携協定
	日中友好フェリー「鑿真号」就航(不定期)	令和 4年10月	韓国定期コンテナ航路(高麗海運)週2便化
平成16年 4月	国際定期コンテナ航路(韓国)開設	令和 4年12月	過去最高23,952TEUを記録
平成22年11月	指定保税地域の指定	令和 5年 7月	サーキュラーパーク九州(株)と立地協定を締結
平成22年11月	韓国定期コンテナ航路の週2便化サービス開始	令和 5年 8月	「川内宮之城道路決起大会」開催
平成23年11月	コンテナ取扱量1万TEU達成	令和 5年11月	川内港久見崎みらいゾーン(1工区)完成
平成24年 7月	鹿児島税関支署川内出張所常駐化	令和 6年 3月	川内港久見崎みらいゾーン(2工区)完成
平成25年 8月	中国定期コンテナ航路開設(※H26年5月から休止)		
〃	国際(神戸)フィーダーコンテナ航路開設		

薩摩川内港港湾施設使用料

● 係船料

区分	単 位	料金(減免前)	備 考
定期航路船	同一係留施設を1日2回以内使用する場合 1回ごとに	係留時間2時間未満のとき、 総トン数1トンにつき	1円89銭
		係留時間2時間以上のとき、24時間 までごとに、総トン数1トンにつき	2円78銭
	同一係留施設を1日 3回以上使用する 場合 1回ごとに	総トン数1トンにつき 1日	5円42銭
不定期航路船	1回ごとに	係留時間12時間以下のとき、 総トン数1トンにつき	3円91銭 (3円59銭)
		係留時間12時間を超え、24時間 以下のとき、総トン数1トンにつき	5円20銭 (4円78銭)
		係留時間24時間を超えるとき、 総トン数1トンにつき	5円20銭(4円78銭)に 24時間を超える係留時間 12時間までごとに2円61銭 (2円39銭)を加算した額
			() は外航船舶 外航コンテナ船は 1/2減免 (当分の間)

● 野積場・荷さばき地使用料

区 分	単 位	料 金	備 考
一般使用	1日1平方メートルにつき	1円89銭	舗装区域については 1日1㎡につき 1円65銭を加算する
専用使用	1月1平方メートルにつき	58円15銭	

● リーファーコンセント使用料

単 位	料金(補助前)	備 考
1口(1時間まで) ごとに	350円	川内港リーファーコンテナ利用 促進支援補助金により 175円/1時間となる

● ハーバークレーン使用料

単 位	料金(減免前)	減免後
1台(30分まで) ごとに	42,550円	21,275円

※薩摩川内市貿易振興協会補助金あり(1日クレーン料金2/3補助)

薩摩川内港についてのお問い合わせは

薩摩川内港の利用・貿易アドバイス等に関するご相談

● 薩摩川内市 経済シティセールス部 産業戦略課 グローバルグループ

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町 3-22

TEL 0996-22-8115(内線 5771) FAX 0996-20-5570 E-mail global@city.satsumasendai.lg.jp

薩摩川内港の利用・貿易補助金等に関するご相談

● 薩摩川内市貿易振興協会

〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町 2211-1

TEL 0996-25-3300 FAX 0996-25-3300 E-mail boushin@kssb-satsumasendai.com